【例題１】COPD に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．COPD は慢性気管支炎や気管支喘息，肺気腫の総称で，有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。

2．COPD の特徴的な症状は，歩行時や階段昇降時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性の咳や痰である。

3．肺胞が破壊されて，肺気腫という状態になると，肺が膨らもうとする力が減少して，息を吐くのは容易だが息を吸うことが困難になり，酸素の取り込み機能が低下する。

4．肺機能検査（スパイロメトリー）で，「１秒率」が50％あれば，COPD の可能性は低い。

5．喫煙者における COPD の発症率はおよそ50％である。COPD 患者が禁煙すると，「１秒量」が改善する。

【正答２】

【例題２】人口動態の指標に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．出生率（粗出生率）は，１年間の出生数をその年の10月１日の総人口で割ったもので，人口10万対で表されるのが一般的である。

2．合計特殊出生率は，15～49歳の女性の年齢別出生率の総和で，１人の女性が一生の間に生む子どもの数を表す指標として用いられる。

3．総再生産率は，１人の女性が，出産時の年齢にかかわらず一生の間に生む子どもの数で，合計特殊出生率よりも大きな値となる。

4．純再生産率は，人口が翌年に増加するか減少するかが分かる指標である。純再生産率が，ある年に１未満になると，その翌年に人口が減少する。

5．新生児死亡率は，１年間の出生数に対する，生後１週未満の死亡数の割合であり，乳児死亡率よりも小さな値となる。

【正答２】

【例題３】国民健康づくり対策に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．2000年に定められた健康日本21は，我が国における初めての国民健康づくり対策である。

2．健康日本21（第二次）は，健康増進に関連するデータの見える化・活用やPDCAサイクルの推進が十分に行われたと評価されている。

3．健康日本21（第二次）の最終評価において，「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」の項目は，「現時点で目標値に達していないが，改善傾向にある」とされている。

4．健康日本21（第三次）の計画期間は，各種取組の健康増進への効果を短期間で測ることは難しく，評価を行うには一定の期間を要すること等を踏まえ，2024年度から2033年度までの10年間とされている。

5．健康日本21（第三次）は，「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし，多様化する社会において，集団に加え個人の特性をより重視しつつ最適な支援・アプローチを実施するとしている。

【正答５】